

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	総合演習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	302 他
担 当 教 員	高田 秀志 他	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネーター2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
これまでに修得した知識を振り返り、現場で実際の検査測定が実施できるよう知識と技術の結びつけを行う。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験50%、実技試験(OSCE)50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
実際の検査測定の知識、技術の振り返りを、教科書の確認、実技練習などにより行っておく。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床の場で重要なため、評価手技の確認を繰り返し行うこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	今まで学習した基礎科目(解剖学)について振り返り、まとめることができる。	配布資料	今まで学習した基礎科目について調べておく。	
		各コマに おける 授業予定	基礎科目(解剖学)の振り返り			
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	今まで学習した基礎科目(生理学)について振り返り、まとめることができる。	配布資料	今まで学習した基礎科目について調べておく。	
		各コマに おける 授業予定	基礎科目(生理学)の振り返り			
第 3 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	今まで学習した基礎科目(運動学)について振り返り、まとめることができる。	配布資料	今まで学習した基礎科目について調べておく。	
		各コマに おける 授業予定	基礎科目(運動学)の振り返り			
第 4 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	今まで学習した基礎科目(評価学)について振り返り、まとめることができる。	配布資料	今まで学習した基礎科目について調べておく。	
		各コマに おける 授業予定	基礎科目(評価学)の振り返り			
第 5 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	今まで学習した基礎科目(解剖学、生理学)について振り返り、まとめることができる。	配布資料	今まで学習した基礎科目について調べておく。	
		各コマに おける 授業予定	基礎科目(解剖学、生理学)の振り返り			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	今まで学習した基礎科目(運動学、評価学)について振り返り、まとめることができる。	配布資料	今まで学習した基礎科目について調べておく。
		各コマにおける授業予定	基礎科目(運動学、評価学)の振り返り		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	今まで学習した基礎科目(解剖学、生理学、運動学、評価学)について振り返り、まとめることができる。	配布資料	今まで学習した基礎科目について調べておく。
		各コマにおける授業予定	基礎科目(解剖学、生理学、運動学、評価学)の振り返り		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEのバイタルチェックの手技が資料を見ながら実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定1(バイタルチェック)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEのバイタルチェックの手技が実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定2(バイタルチェック2)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEの関節可動域測定の手技が資料を見ながら実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定3(関節可動域測定)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEの関節可動域測定の手技が実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定4(関節可動域測定2)		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEの徒手筋力検査の手技が資料を見ながら実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定5(徒手筋力検査)		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEの徒手筋力検査の手技が実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定6(徒手筋力検査2)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEのBrunnstrom Recovery Stageの手技が資料を見ながら実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定7(Brunnstrom Recovery Stage)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	OSCEのBrunnstrom Recovery Stageの手技が実施できる。	配布資料	今まで学習した評価手技について練習しておく。
		各コマにおける授業予定	検査・測定8(Brunnstrom Recovery Stage2)		